



第32回国労九州本部定期大会開催

8月25日博多第三偕成ビルにおいて第32回国労九州本部定期大会を開催しました。また、当日は前段で労働講座として国労会館主催の学習会と終了後、八仙閣において、国労結成70周年にセレブションも開催しました。

大会は、内田副委員長の開会挨拶で始まり、議長に博多地区本部の萩原委員を選出し議事が進行しました。眞子委員長挨拶では「昨年の方針に基づき1年奮闘してきた。4月に熊本で地震が発生し全国的なカンパの取り組みや、震災ボランティアに参加してきた。①政治的な動向して、参議院選挙の結果や、労働法制改悪問題、原発再稼働問題、沖縄の基地問題など、平和と民主主義が大変な状況となっています。様々な諸団体と連携し闘いを強化しなくてはならない。②株式上場全輸送の確立を求めて、物質不安を持っている。55, 57歳以上の賃金減額是正、安

鹿児島 黒木代議員
では、少しづつであるが成果も出ている。若い力も54号を達成し、HPに載せてある。④国労結成70周年となる。これまでも困難を乗り越えてきた歴史がある。終了後セレブションを行うが國労の歴史が今後も継承されるよう頑張っていく必要がある。」とありました。

来賓は、社会民主党・日本共産党・交運共済・労金・退職者の会・国労議員団、交運労協から激励のご挨拶を受けました。本部からは坂口委員長から、情勢と全国大会の報告として挨拶を受けました。

その後、2015年の経過報告と2016年運動方針を提起し、6名の代議員

国労九州

復第 64号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニッコーハイツ1003
092-483-1515
発責 真子俊久
編責 岩元孝信

・組織拡大に
全力をあげよう!
・大臣に国労
加入を訴えよう!

い幾多の困難を乗り越えてきた歴史がある。自信と確信をもつて頑張ろう。

長崎
神近代
議員

から発言がありました。主な発言内容は以下の通りです。

鹿児島 黒木代議員

①乗務員の勤務制度が昨年改悪されたが、時短といいつつ、実労働時間は大幅に長くなつたのが実態であり、多くの不満が職場で出されている。今後具体的に取り組みをどうして行くのか明らかにされたい。②特急4両ワンマンが、今年の効率化の計画に入つていい九州に波及する恐れがある。安全面、労働強化、車掌の人員削減につながり全効率化の計画に入つていい。その為には、提案を受けないという姿勢をもちそれを訴える取り組み。国交省・運輸局に対する要請。チラシ宣伝、ストを含めた闘いをどう構築するのか求められている。③国労70周年を迎えているが労働者の立場に立つて運動を行

44回目となつたが被爆者の高齢化などにより運営が厳しくなる。今後も九州本部各地区本部の応援をお願いしたい。②支社での交渉について、1月大雪での出勤から発言がありました。主な発言内容は以下の通りです。

44回目となつたが被爆者の高齢化などにより運営が厳しくなる。今後も九州本部各地区本部の応援をお願いしたい。②支社での交渉について、1月大雪での出勤からダイヤ改正に不満の声が上がっている。③組織強化拡大では、7月に関連労働者の加入があつた。若手の中にも国労に同調する人も増えたが会社からの厳しさは至つていない。他の地区でも目もあり、まだ拡大まで本部と合同でレクを開催したりして拡大運動を行つてきている。関連労働者で拡大できるかもしれないが、職場の関係では、酷暑のため、レール張り出し事故が増えており、技術継承の問題などで、細かい異常、技術診断など見つけにくい状況にある。

労組第32回定期



国労九州

復第 64号

福岡市博多駅東
3丁目9番3号
ニッコーハイツ1003
092-483-1515
発責 真子俊久
編責 岩元孝信

佐賀 西村代議員

①レール張り出し事故が発生した。鹿島地区は人がいない、技術継承ができるない状況である。②昨年のインシデントで対策として今年5月から標識を立てることになった。絶縁場所は所によって立てられないところもある。交渉で解決を。

③工務超勤問題では、面談後超勤を出しやすくなつたが、より時間を管理するためにはタイムカードなどの導入ができるないか。④駅が無人化となつた場合、ホーム玉名駅でホーム要員の廃止を行つた。来春のダイヤ改正では新大牟田、筑後船小屋駅でホーム要員廃止が計画されている。車掌が移動柵を扱うが、異常時の対応ができるのか不安である。

北九州 糸山代議員

①4Bワンマン、小倉駅でのホーム要員廃止、駅の無人化等これらの問題で若い。レクなどに他労組を誘

い。今後も問題点・矛盾点を若手にぶつけ声をかけていかなければならぬ。若い力などの情報を使って積極的に若手に声をかけるしかない。②労働条件改善署名について、組合員が減少した中でも署名をさせていい。署名行動によって他労組と会話ができるいいチャンスだと思う。国労をアピールするためにも署名に全力を挙げる。

博多 香田代議員

情報の重要性について、全国からよく頑張っているとの声と、ここまでレベルを下げるのかとの声も聞く。しかし若手社員の多くは、労基法や就業規則などをよくわかっていない。ここまでかみ砕く必要性があると思う。国労の正しさは当たり前の運動を行つていることである。他労組に正面から訴え、今できることを取り組んで行きたい。

千々岩書記長より「①JR九州の株式上場が、10月に定されているが、組合員には、労働条件等どうなるのか不安があると思う。上場によつて安全・サービスの低下などないよう注視していく。②合理化反対、安心安定輸送の確立について、根幹である技術継承、労働条件、教育の充実を求める「点検運動」を職場に定めさせ職場の要求と政策実現に全力をあげなくてはならない。今後宮利優先の施策を強引に進めてくることも予想し安全を大前提としても想し安全を大前提とした厳しい目で運動を強化することが必要である。③組織強化・拡大と職場活動の活性化について、大会までに博多、長崎と2名の拡大組織の構成を考えれば、これまでの運動・活動スタイルを勝ち取つた。しかし国労で働き、暮らせる政治を実現するため取り組みを強化していくしかなければならぬ」と集約され、大会は成功裡に終了しました。

佐賀 西村代議員

①レール張り出し事故が発生した。鹿島地区は人がいない、技術継承ができるない状況である。②昨年のインシデントで対策として今年5月から標識を立てることになった。絶縁場所は所によって立てられないところもある。交渉で解決を。

③工務超勤問題では、面談後超勤を出しやすくなつたが、より時間を管理するためにはタイムカードなどの導入ができるないか。④駅が無人化となつた場合、ホーム玉名駅でホーム要員の廃止を行つた。来春のダイヤ改正では新大牟田、筑後船小屋駅でホーム要員廃止が計画されている。車掌が移動柵を扱うが、異常時の対応ができるのか不安である。

北九州 糸山代議員

博多 原田代議員

①営業からの問題点について、鉄営の駅が夜になると無人化になり、直営駅に苦情が殺到している。②インターネット割引の切符は高齢者は買えないため、苦情が毎週出ている。サービスの低下ではないか。③新玉名駅でホーム要員の廃止を行つた。来春のダイヤ改正では新大牟田、筑後船小屋駅でホーム要員廃止が計画されている。車掌が移動柵を扱うが、異常時の対応ができるのか不安である。

北九州 糸山代議員

博多 香田代議員

情報の重要性について、全国からよく頑張っているとの声と、ここまでレベルを下げるのかとの声も聞く。しかし若手社員の多くは、労基法や就業規則などをよくわかっていない。ここまでかみ砕く必要性があると思う。国労の正しさは当たり前の運動を行つていることである。他労組に正面から訴え、今できることを取り組んで行きたい。

書記長集約

千々岩書記長より「①JR九州の株式上場が、10月に定されているが、組合員には、労働条件等どうなるのか不安があると思う。上場によつて安全・サービスの低下などないよう注視していく。②合理化反対、安心安定輸送の取り組みと合わせ、戦争法廃止と民主主義を守る様々な課題と組織拡大を結合して闘う必要がある。九州では、55・57歳からの賃金減額廃止を求めていく。60歳以上の労働条件改善についても休日増や賃金の増額を求めて同一労働・同一賃金の観点から要求の実現を目指す。⑤平和と民主主義を守る闘いについて。憲法と民主主義が重んじられており、反戦・平和・護憲・民主主義擁護の基本的な観点から全組合員・家族が奮闘し、労働者・国民が安心して働き、暮らせる政治を実現するため取り組みを強化していくしかなければならぬ」と集約され、大会は成功裡に終了しました。

この取り組みを共有し、全機関が組織拡大の運動を開催することが求められる。④17年春闘と労働条件改善の取り組みについて、今春闘では、賃上げ・安定輸送の取り組みと合わせ、戦争法廃止と民主主義を守る様々な課題と組織拡大を結合して闘う必要がある。九州では、55・57歳からの賃金減額廃止を求めていく。60歳以上の労働条件改善についても休日増や賃金の増額を求めて同一労働・同一賃金の観点から要求の実現を目指す。⑤平和と民主主義を守る闘いについて。憲法と民主主義が重んじられており、反戦・平和・護憲・民主主義擁護の基本的な観点から全組合員・家族が奮闘し、労働者・国民が安心して働き、暮らせる政治を実現するため取り組みを強化していくしかなければならぬ」と集約され、大会は成功裡に終了しました。

ルを大胆に転換する議論が必要である。この間九州本部は、青年の一泊学習会の開催、若い力の記念号を発刊しHPも開設してきた。全機関が組織拡大の運動を開催することが求められる。④17年春闘と労働条件改善の取り組みについて、今春闘では、賃上げ・安定輸送の取り組みと合わせ、戦争法廃止と民主主義を守る様々な課題と組織拡大を結合して闘う必要がある。九州では、55・57歳からの賃金減額廃止を求めていく。60歳以上の労働条件改善についても休日増や賃金の増額を求めて同一労働・同一賃金の観点から要求の実現を目指す。⑤平和と民主主義を守る闘いについて。憲法と民主主義が重んじられており、反戦・平和・護憲・民主主義擁護の基本的な観点から全組合員・家族が奮闘し、労働者・国民が安心して働き、暮らせる政治を実現するため取り組みを強化していくしかなければならぬ」と集約され、大会は成功裡に終了しました。